

なまこん信州

第87号
Namacon Shinsyu
2024.2.29
(令和6年)

URL:<http://www.nr-coop.server-shared.com> E-mail:nr-coop@muse.ocn.ne.jp



下高井郡木島平村

目次

contents

理事長ごあいさつ	2
令和5年度品質管理監査について	3～6
コンクリート診断士・主任技士・技士合格者	6～8
高校生生コン製造・打設実習授業等協力事業	9
上田 道と川の駅 安全・安心イベント2023	10
北から南から	11
事務局だより	12
編集後記	12

発行所
長野県生コンクリート工業組合
〒381-2213
長野市広田48番地神明第1ビル5階
☎026-283-8712
発行責任者 山浦友二
有限会社アツターロ

理事長ごあいさつ

長野県生コンクリート工業組合 理事長
長野県生コンクリート協同組合 会長

山浦友二



本年度も残すところわずかなってまいりました。組合員の皆様には、一年を通して工業組合並びに協同組合連合会の事業運営に格別のご理解、御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

皆様方からの御協力のもと、組合の事業もコロナ前と変わらぬ形で開催してまいりました。理事会や委員会はもとより、品質管理監

査や経営者セミナー、技術研修会など多くの組合員のご協力のもと、前向きで円滑な組合運営ができたものと思っています。

一方で、昨年140万㎡を超えた生コン出荷量は、本年度、公共事業などの官公需、民間需要とも低調に推移し、1月末現在では98万㎡（前年度比82・0％）となっており、通年で見通すと出荷最低ラインの目安としてきた120万㎡を割り込み、工業組合創設以来最低の出荷量となることが見込まれ、非常に厳しい需要状況に置かれております。

また、昨年はセメントや骨材など、原材料の価格高騰から2年続けて全ての協同組合で価格改定が

行われました。生コン品質の維持向上と安定的な供給を図り、組合員の経営環境を改善するため、やむを得ない判断であったと考えています。

本年も更なる骨材の値上がりから改定を予定する協同組合も出てきていますが、我々は、常に品質の良い生コンを安定的に供給していくことが最大の使命であり、そのため、日頃から技術の研鑽に励み、販売価格にふさわしい生コンの生産に努めていかななくてはなりません。

組合といたしましては、組合員の皆様のご協力をいただきながら、品質管理監査による一層の品質管理徹底と技術研修会や講習会の開催、工場に対する技術支援などによる技術力の維持向上に、より積極的に取り組んでいきたいと思っております。

また、厳しい環境の中でも全組合員の安定的な経営の実現のため、引き続き、国や県に対して、強靱で安心安全につながる生コン

使用を強く訴え、公共事業費の大幅な増額をお願いするとともに、発注の平準化や値上げに伴う設計価格への早期反映など、諸課題の解決に向けた要請活動を展開していきたいと考えています。

今後とも組合員の皆様には、組合に対する一層のご支援、御協力をお願いする次第です。

結びに、組合員の皆様のますますのご発展とご活躍をご祈念申し上げます。



2月8日開催 天竜川上流河川事務所への要請

令和5年度品質管理監査について

長野県生コンクリート品質管理監査会議議長

大上 俊之

長野県生コンクリート品質管理

監査会議の議長として本年度の総括を述べさせていただきます。実
施状況は、通常監査として、69工
場69プラントを実施しました。査
察は、前年度合格証交付工場の
10%以上を実施するとの全国基準
に照らし、8工場を実施しており
ます。また、査察については、全
工場に議長あるいは副議長が立会
うこととし、実施してまいりまし
た。

結果の審議は去る12月14日に開
催した第3回品質管理監査会議に
おいて全工場の監査合格と査察の
適合を承認しました。詳細につい
ては2月6日の監査報告会におい
て報告を行ったところです。本年
度はコロナウイルス感染症が5類
に移行されたことから、書類審査
や立会い等、制限のない従来の監

査方式での実施となりました。

令和5年度の品質管理監査方
針を前年度と同様に、「指導要望
事項の削減と呼び強度比の維持」
及び「品質管理に対する意識の向
上」として進めてまいりました。
結果の詳細につきましては、令和
5年度報告書に記載された通りで
すが、ここでは本年度の成果報告
と、今後の取り組みについての考
えを申し上げます。

監査方針の結果は、「指導要望
事項の削減」については、是正勸
告は0件で目標を達成しましたが、
指導要望事項件数と前年度の指摘
事項は正率が未達成となりました。
指導要望事項数では、40件以
下の目標に対して42件となり、昨
年実績よりは15件減少したものの
未達成となっています。内訳の比
率は例年総括的事項が約半数を占

めていましたが、本年度は変化が
見られ、総括的事項とともに、実
地、製品が大きい割合を占める結
果となりました。そのうちの全体
の36%を占める総括的事項につい
ては、主に記録類の不整合、公害
防止関係がありました。また、全
体の21%を占める実地については、
試験手順不備、検査不適合となっ
ています。

「呼び強度比の維持」について
は、平均値1・30の目標
値に対して1・29の結果
で目標を達成しましたが、
強度比1・50以上の工場
数0の目標に対しては1工
場となり、前年度に引き続
き未達成となりました。

トータル減点数について
は、前年度より平均値が減
少するとともに、減点0の
工場が全体の81%、56工場
と増加しました。また、指
導要望事項なしの工場は前
年度より9工場増加し、40
工場となっています。

指導要望事項に対する改
善計画書の1か月以内の提

出については、29工場が対象とな
りましたが、すべてが期限内に提
出されました。ただし、提出必須
の是正処置報告書等の未提出によ
り、再提出を求めた工場が1工場
あったことなど、周知徹底不足が
窺えました。

本年度は制限のない監査を実施
したこともあり、コロナ禍での過
去3年とは少し違った監査となり
ました。その中で新たな気付きや



表-1 指導要望事項の詳細

指導内容	件数	詳細 (不備部分の説明)
総合的事項	記録類	5 書式、記録不整合 議事録不整合
	公害防止	3 産廃処理計画書未提出 マニフェスト誤記入、担当者不明確
	外部文書	2 最新版管理
	不適合管理	1 予防処置未実施
	社員教育	1 力量評価不整合
	外注管理	1 契約書紛失
	社内規格見直し	1 見直し記録なし
	社内規格改正配布	1 社内規格改正不備
	小 計	15
	材料	受入れ・チェック
小 計		3
配合	配合設計	3 配合設計不備(補間設定)
	小 計	3
製品	製品検査・管理図	8 管理線不備、記録不備 ロット判定不備
	小 計	8
設備	製造設備	2 骨材保管方法不備 点検表不整合
	検査設備	1 粗骨材表面水補正装置規定記録なし
	小 計	3
工程	印字記録装置	1 単度量算不可
	小 計	1
実地	試験方法	7 試験手順不備、粗骨材表面水設定不備、細骨材表面水率の測定誤差
	検査不適合など	2 スランプ、容積不適合
	小 計	9
合計	42	

改善点が見えた工場もあつたかと思ひます。それらを前向きに捉え、より良い品質管理に繋げていってもらいたいと思ひます。また、品質管理責任者講習会の開催や各支部での研修会、更には各工場での周知教育に關しては確実に成果が出ているものと考えています。来年度も継続して、これらを実施・推奨していきますので、ご協力を

お願いいたします。最後に、監査内容の分析結果として指導要望事項の詳細な内容と表-1として示しました。それぞれの項目を自工場の課題として取り組み、改善を進めていただきたいと思ひます。その他のデータについても、別資料として公表いたしますので、次年度への活用をお願いいたします。

品質監査を終えて

長野県生コンクリート品質管理監査会議副議長

遠藤典男

12月14日に第3回長野県生コンクリート品質管理監査会議が開催され、審議の結果、監査と査察を受けた全ての工場が適合と判断されました。その後2月6日に開催された報告会において合格証が交付されています。ここに監査と査察にご対応された工場関係者の皆様、長野県工業組合の方々に敬意を表します。

本年度は、5月にコロナ感染症が5類に移行したことに伴って自粛生活が明け、コロナ前の通常の監査が実施されました。コロナ感染症の流行期間中は各工場においても各種に感染対策を講じ、何かと気遣いも多かったと推察され、一段落ついたかと思ひます。本年度の監査におきましては、まず年度当初に掲げた「指導要望事項の削減と強度比の維持」に關し、数値目標40件以下に対し42件の指摘があり、呼び強度比が1・

5を超える工場を0とするという目標に対し、1工場が該当しております。減点数が0の工場ではあるが、監査項目として減点とならないが指導要望事項として指摘されていることも多く、改めて長野県における品質監査制度のレベルが高いと考えられます。本目標に対して、数値的には目標達成とはなりませんでしたが、目標自体も高いレベルであり、個人的には良好な状況であると考えております。一方、もう一つの目標である「品質管理に対する意識の向上」に關しては、社員に対する教育訓練と材料現認を行い、不適合工場を0とする目標は達成できたことになり、日々の努力のたまものと考えられます。

監査項目のうちでも望ましい事項となっている、主任技士の常駐に關して満足されない工場も散見されました。より高いレベルの監



査に対応するため、人材に関する項目につき多大な尽力が必要となると思われますが、社員の教育訓練と相まって、今後、地道に対応してゆく課題では、と考えております。

さらに、本年度から他県で発覚した戻りコンクリートを再出荷した事例を踏まえ、過去1年間の毎月、および任意の数日に対して製造量と出荷量の整合性を確認しましたが、本件については問題なく確認できました。しかしながら、

問題点も浮き彫りになり、アナログな手法ではありますが、手書きにより毎日の製造量と出荷量の記録も、何かの折に役立つのでは、と感じました。

昨今の異常気象とも感じられる環境下で頻発する自然災害に対し、社会資本の保全や整備に不可欠な生コンクリートは刮目に値すると考えられ、改めて組合を中心有致団結して良質な製品を出荷することが、社会のニーズに資すると考えております。

品質管理監査員を終えて

（株）宮下 宮下生コンクリート工場

新井武春

令和4年・令和5年と2年間にわたり副監査員を務めさせて頂きました。川崎主任監査員をはじめ、担当させて頂きました工場の皆様には、至らぬ点多い中に誠意こもる温かい対応を頂きましたこと、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

監査員を務めるにあたり、責任の重さを感じては緊張感でいっぱいでした。監査員会議で、品質管

理監査チェックリストと自社の社内規格・書類および引用規格との関連についてしっかりと把握することが大事と教えて頂き、焦る思いで事前準備をしたことを思い出します。

監査初日は、知らない場所にある工場に無事に辿り着けるかとの心配にはじまり、監査日程を確認し、実地試験の項目確認、動荷重検査表の記入、社内規格の内容把握と、冷静を装いつつ内心は緊張感で一杯でした。

この2年間で計18工場の監査を担当させて頂きましたが、自社以外の工場を見させて頂く貴重な機会となりました。社内規格をはじめ各種試験の帳票類・管理図など、各社毎に創意工夫がなされており、またプラント設備や試験器具、実地試験の進め方や砂の表面水測定手順等の新たな情報が得られ、今後の参考になる有意義な経験となりました。

今回の監査員を通して得られた知見を生かし業務に取り組みたいと思います。2年間本当にありがとうございました。

監査員を終えて

（株）小共同生コン

斉藤友紀

令和4年度から令和5年度までの2年間、監査員を務めさせて頂いた、計18工場の品質管理監査を担当させて頂きました。お伺いさせていただいた工場の皆様御協力もあり、不慣れなことでありましたが集中して取り組むことができました。

この2年間を振り返りますと、普段通りの生活をしていただけでは、行くことがなかったかもしれない地域と工場にお伺いすることができ、私が今まで行ってきた品質管理や学んだ知識はごく一部のことに過ぎず、多方面からの品質管理を直接肌で感じることで学びの多い2年間でありました。

また、各工場の品質管理監査と品質管理に対する意識の高さにも度々驚かされました。その中でも、生コン業界は若手不足という状況下で、次世代を担う若手の方々がしっかりと品質管理に携わり、各工場の第一線で御活躍されている

姿がとても印象に残りました。その背景には、先輩技術者方の方のこれまで培ってきた経験と教育指導がしっかりと活かされていることを強く感じました。これからも工場一丸となって、より良い工場を築き上げていただきたいと思います。最後にになりましたが、各工場並びに工組関係者の皆様の御協力と御指導に感謝申し上げます。ありがとうございました。

感謝と貴重な経験

阿南生コン株式会社南宮工場
原田圭介

副監査員として2年間の任期を無事に終えることができました。広い長野県、今回の監査で初めて訪れる地域もありました。大変な任務ではありましたが、知らない場所へ行けるという少しの楽しみもあり、何とか務め上げることができました。お伺いした工場の皆様、立会い頂いた皆様他多くの方々に感謝申し上げます。まだまだ知識や経験も浅く、慣れない副監査員でしたがご協力ご対応本当にありがとうございました。

私の突拍子もない発言に疑問を持つこともあったかと思いますが、不慣れで緊張していたのでどうかお許しください。

副監査員を終えての率直な感想は、「緊張、驚き、とても勉強になった」ということです。いざ監査をする側に立つてみると、今までとはまるで見え方が違いました。プラント設備、品質管理や書類の作り方、社内規格、見るもの全てが新鮮でとても参考になりました。どの工場も限られた設備、人員、予算や材料のなかでの品質管理に対する考えや取り組みは、私が今までコンクリート業界で学んできた分野において深い興味と魅力をも感じました。一方で、様々な規格に縛られ振り回され、審査や監査では伝票の一つのチェックミスも指摘されてしまう非常に非情な世界に身を置いている工場の皆様の苦勞も垣間見ることができました。

今回の副監査員の経験を活かして、これからも業務に励んでいきたいと思えます。

令和5年度 コンクリート診断士・主任技士・技士 合格者名簿

☆コンクリート診断士合格者(1名)

長水支部 小林 秀人 信州生コン(株)豊野工場

☆コンクリート主任技士試験合格者(4名)

下伊那支部 松島 寛樹 下伊那生コン協同組合共同試験所

佐久支部 岩下 泰樹 (株)本久 海ノ口工場

長水支部 綿貫 武司 長野生コン(株)

横田 景一 (株)本久 長野生コン工場

☆コンクリート技士試験合格者(23名)

大北支部 深山 曉美 白馬小谷生コン(株)

安筑支部 下川 慧 白馬小谷生コン(株)

松本支部 林 辰平 安筑生コン事業協同組合

木曾支部 横山 真純 昭和産業(株) 松本工場

諏訪支部 竹内 周平 (株)小石興業 アップル生コン工場

上伊那支部 寺嶋 圭太 昭和産業(株) 木曾生コン工場

下伊那支部 中島 竜平 (有)南木曾生コン工場

高田 真志 小倉 裕次郎 (株)伊那生コンクリート工業 伊那工場

代田 和也 水 上 薫 竜峡レミコン(株)

磯部 真志 片桐 徹 (株)高沢生コン

原 翔二 (株)高沢生コン

若林 繁 (株)高沢生コン

関根 佳之 (株)本久 海ノ口工場

掛川 広宣 竹花工業(株)小諸生コン工場

福島 潤 (株)シナノ生コン 軽井沢工場

吉田 文彦 (株)シナノ生コン 軽井沢工場

安田 高嶺 (株)シナノ生コン 上田工場

金 隼也 (株)高見澤 生コン事業部上田工場

長水支部 橋 一飛 (有)商会 コンクリート事業部生コンクリート工場

「コンクリート診断士」合格者
4名の栄



コンクリート診断士を
受検して
 信州生コン協豊野工場
小林 秀人

コンクリート技士を取得した次は主任技士、そのまた次は診断士。これは、生コン工場のおおかたの品質管理担当が経験する資格試験の波だと思えます。私も主任技士を取得した後に、会社の後押により、もうひと踏ん張りと思い診断士を目指しました。そしてこの度、やってきたことが実を結びコンクリート診断士試験に合格しました。

振り返ると1回目の試験は、択一問題が6割弱、論文も納得するものは記述できませんでした。一発合格を目指し、相応に勉強もしましたが結果は不合格、診断士の壁の高さを実感しました。そして、2回目の試験を迎えることになりましたが、その頃は生活環境が変わっていました。私事ですが、令和4年の春に息子が生ま

れました。それから、妻は育児で常に寝不足で疲れている様子でした。そのため、できる範囲で家事と育児の手伝いに専念し、勉強は二の次です。このように、時間的な制約はありましたが、良い塩梅で準備ができ、試験は択一問題が7割強、論文は細かい設問に対して正確な記述がある程度できたと思います。

合格通知が届いた日は、心底から感じるものがありました。さて、これで試験勉強の日々は終了です。これからは、パパ全開で家族と過ごしたいと思います。



主任技士試験を終えて
 下伊那生コン協同組合
 共同試験所
松島 寛樹

私は下伊那生コン協同組合共同試験所に勤務し、骨材試験と圧縮強度試験を担当しています。コンクリート主任技士試験は、今回で3度目の挑戦でした。「今回こそ絶対に合格する」という気持ちで

試験に臨んでいたため、合格することができてほっとしています。私の勉強方法を紹介します。四択問題は過去問を繰り返し解き、

分からない問題はコンクリート技術の要点で調べました。何度か読み直しても理解できない場合は、深追いせずに他の問題を解く時間に充てました。小論文は「環境負荷低減」と「耐久性向上」について、それぞれ1000文字程度でまとめ、上司やセメントメーカーの方に添削していただきました。

まとめられた小論文にアレンジを加えて書く練習をして、試験時に小論文を何文字で書くことになっても対応できるようにしました。

今後受験される方へのアドバイスは、メリハリをつけて勉強することです。試験日が近づくと「勉強しないといけない」という思いになり、嫌々勉強する日もあると思います。そういった時は無理に勉強せず、ゆっくり休むことも必要だと思います。

私がコンクリート主任技士試験に合格できたのも、小論文を添削していただいた方々のおかげであ

り、感謝しております。今後も様々なことに挑戦し、向上心を持って業務に取り組んでいきたいと思えます。



主任技士試験を終えて
 徳本久 海ノ口生コン工場
岩下 泰樹

今回、3回目の挑戦で無事に合格することができたことを嬉しく思っています。

勉強方法は、セメントメーカーの通信教育と過去問題集で行い、疑問に思った部分はテキストと技術の要点を確認することを繰り返ししました。小論文対策では、書きたいテーマの模範解答をいくつも読み、その中で自分が書きたいことや得意な分野を抜き出し、つなぎ合わせて原案を作成後、詳細を調べながら自分の文章に変えていきました。小論文作成に慣れてきてからは、自身の経験からの知識をより多く文章に取り込むことで、試験当日もその場で文章を構成することができたと感じます。今後受験をされる方へのアドバイスは、「合格するために勉強す

る」ことを決意し、勉強時間の具体的な計画を立てることが一番重要だと思えます。いつからどのくらい勉強するかを決めた方が、余裕を持って受験に取り組めると感じます。また、私は今回、仕事や子育てで忙しい中、限られた家での時間も勉強することをこれ以上続けたくないという強い気持ちをもち取り組みました。最後の押しはやはり気持ちかもしれません。

最後になりましたが、仕事や家庭の事情で勉強時間の確保が難しい中、集中して勉強する機会を作っていただいた自社生コン事業部と技術部会の皆様、セメントメーカー担当者様、長野県生コンクリート工業組合 宮島様、勉強の場に参加できるようフォローして頂いた方々に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



私は、大学の建築学科を卒業後

に建設会社で現場代理人をし、その後も建設業関連の仕事が続けて、今現在は長野生コン(株)に勤務しております。

主任技士の勉強法としては、主に、UBE三菱セメント(株)の通信講座から始まり、過去5年分の問題集と定期的に行われる模擬試験をやりました。なかでも、特に重要視したのが、解答の解説文です。解答の正誤よりも問題の内容を理解し、解らないことは解るまで調べました。

小論文対策では、過去の解答例を読んだり、小論文の書き方の本を読んだりしましたが、正直、よく解りませんでした。ですが、模擬試験で小論文を添削してもらい、何がダメなのか、どう書けばよいのか分かった気がします。小論文は人を読んでもらうのが大切だと思います。

私は今回、初めて主任技士の試験を受けましたが、勉強は4月頃から毎日、最低でも朝と晩のどちらかで30分ほど勉強する事にして、先ず勉強する習慣作りを目標にしました。「継続は力なり」で

す。

最後になりましたが、コンクリート主任技士合格にあたり、UBE三菱セメント(株)様を始めとして、御協力いただいた皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。資格取得はあくまで通過点として、実務の方も資格に恥じないように頑張りたいです。



合格発表の速報に自分の受験番号があることがしばしば信じられなく、受験票の番号を何度も見返しようやく実感が沸き上がってきたのを覚えています。数日後例年とは異なる厚さの封筒が届き改めて合格したと喜びました。

弊社は様々な部署があり私は土木建築資材の営業、工事、土質試験等を経験した後生コン工場に配属され試験室業務に従事しています。

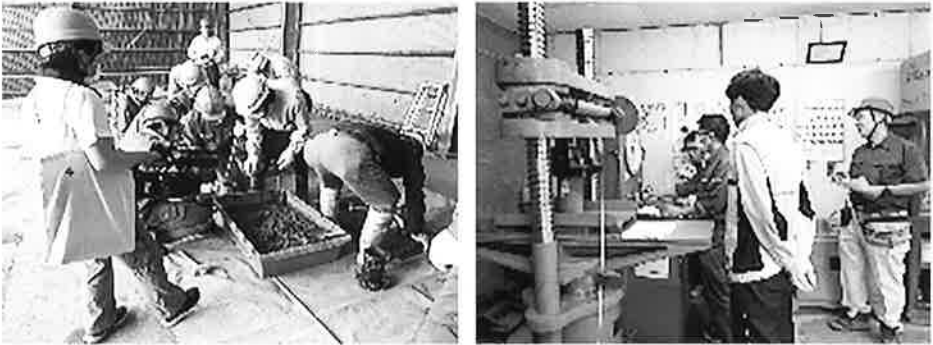


勉強方法として本年はセメントメーカー講師に招き自社内にて講習会を実施していただきました。

模擬試験と解説を何回か行い、自分の弱点を再認識し理解するまで重点的に復習しました。また市販の問題集を利用し過去問を何度も繰り返し解くことで類似した問題が多いことが分かり4択問題への対応が容易になりました。小論文に関しては最近の傾向を踏まえ、環境問題をメインに準備しました。私の論文作成方法は、必ず述べたい重要なことをいくつかピックアップしそこから内容を広げていく方法です。出来上がった論文を何度も繰り返し書き写し覚えても試験本番では半分は忘れてしまいう、試験問題と相違した場合対応が出来なくなると考えているため、本当に重要なことだけを箇条書きにして覚えておき、そこから問題に合致する様な論文を作り上げていきました。

最後に「やっと11月の東京行きは終わったのね」と言う応援してくれた妻に感謝、業務中の講習会を開催して頂いた会社に御礼申し上げます。



高校生生コン製造・打設実習授業等協力事業一覧表

実施日	場所	高校名及び学科	授業の内容	参加 生徒数
令和5年5月29日 令和5年6月19日 令和5年7月19日 (3日間)	昭和産業(株) 木曾生コン工場	木曾青峰高等学校 森林環境科森林学科 3年	工場見学、テストピース制作実習、 4週強度試験実習	16 人
<p>〈生徒の感想〉 今までコンクリート自体に関心はなかったけれど、実際に工場を見てみて、設備が大きかったので、規模感に関心を持ちました。</p> 				
令和5年7月20日	マルモ生コン(株) 明科工場	南安曇農業高等学校 環境クリエイト科 2年	工場見学、スランプ試験、 空気量試験、供試体作製、 塩化物含有量試験 (カンタブ)	25 人
<p>〈生徒の感想〉 「実際のミキサーは大きく迫力があつた。コンピュータが管理する全自動生産システムには驚いた。」 「普段何気なく踏んでいるコンクリートが努力あつて造られている事を知り、感謝しなければと思った。」</p> 				
令和5年10月19日 令和5年11月16日 (2日間)	信州生コン(株) 大橋工場	長野工業高等学校 土木工学科 3年	工場見学、生コン打設実習 (校内敷地土間打設)	20 人
<p>〈生徒の感想〉 「打設は授業でも行ったことがなく勉強になった。卒業後は土木に係る仕事に就く予定なので、この経験を就職先でも役立てたい。」 「授業の中で生コンの基礎は学んでいるが、実際の製造工程などを見ることは具体的なイメージにつながり、貴重な体験となった。」</p> 				



令和5年9月9日(土)上田市において、安全・安心イベント2023実行委員会によるイベントが開催され、当組合から上田生コン株式会社が協力させていただきました。

この催しは、「安全・安心な地域づくり」と「健康推進」の意識を地域に誘起し定着させるために、関係機関及び団体が連携し情報発信・体験・実演、交流等を行い「リスクコミュニケーションの醸成」を図るイベントとして開催され、当日は2,500名の来場者が集まりました！

●災害対策・安全対策車両大集合

生コン車、排水ポンプ車、衛星通信車、パトカー、消防車、白バイデモ走行ほか

●防災関連活動、防災用品の展示・提供コーナー

●安全・安心な農産物、手芸・工芸品、加工食品コーナー

●健康チェックコーナー

●わんニャンコーナー

●地域から空から視察

私たちが暮らす地域をヘリコプターに乗って空から視察します。

●スタンプラリー

各展示ブースをまわりスタンプを集めた方に防災関連商品をプレゼント。

●炊き出し訓練



連携・協力

国交省千曲川河川事務所・長野国道、自衛隊長野地方協力本部、上田建設事務所、上田警察署、上田市、上田地域広域消防本部、半過自治会、近隣自治会、上田市消防団第七分団、上田市社会福祉協議会、県建設業協会上小支部、上田市防災支援協会、セキュリティー関連企業ほか



協組の話題

北から

南から

いいやまの

冬の名物



北信生コン協同組合

手塚敬子

いいやまの冬の名物として親しまれている「バナナポット」を紹介します。

冬のスイーツと言ったら皆さんは何を思い浮かべるでしょうか？冬季節飯山のお菓子屋さんには「バナナポット」が並びます。昭和50年くらいから作られ始めたらしくその名のとおり、生のバナナと生クリームをスポンジで包み込んだ洋菓子で市内のお菓子屋さんそれぞれこだわりのを持って作られています。最初の頃は冷蔵設備が十分でないことから冬季限定となったとも言われています。

近頃バナナポットに関する食

べ比べの特集も組まれていて注目が集まっています。北信支部女子会でも新年茶話会を開催し食べ比べをしました。写真にある通り12種類のバナナポットが並んだ状況はなかなかのものでした。

早速、見た目から雑談が始まりそれぞれ5等分に切り分けて食べ比べしました。食感や甘さ、クリーム等について話が弾みました。当たり前前の「美味しい」の一言は言わない約束で食べ比べめ、好みや違い等も細かくチェックしながら食べ比べをすることができました。

個別の評価については割愛しますが、いずれも甲乙付け難く、その店その店の個性を発見することで自分好みのものの発掘と、各店舗の拘りも感じることが出来ました。やはり最後は全員口を揃えて「美味しかった〜」で締めくくる楽しい時間となりました。

市内のお菓子屋さん前には黄色い旗が出ていますので回りながらの購入も楽しめます。

今回の企画で全店のバナナポットを調達するために、11月にグ



ランドオープンした花の駅千曲川内にある、Café里わぐ様に全面協力頂きました。こちらでは土日限定で各店舗のバナナポットが並んでいますので食べ比べも出来そうです。加えて地元旬食材にこだわったメニューも充実していますので、いいやまの魅力を存分に感じる事が出来ますよ。

今冬は雪も少なめ。まだまだ冬の行事やイベントも沢山あります。いいやまの冬の魅力発見と冬の名物を食べに出かけてみませんか。

事務局
だより

活動報告・予定

自：令和5年9月
至：令和6年5月

令和5年度

- 9月5日(火)
第1回共同事業委員会
- 10月7日(土)
技術者養成講習会(安筑協組)
- 10月21日(土)
技術者養成講習会(佐久協組)
- 10月30日(月)
第4回正副理事長会議
- 第5回理事会
- 第40回経営者セミナー
- 11月7日(火)
長野県建設部との懇談会
- 11月15日(水)
第5回正副理事長会議
- 長野県砂利採石業協会との懇談会
- 12月14日(木)
第3回監査員会議
- 第3回品質管理監査会議
- 1月23日(火)
第3回技術委員会
- 1月24日(水)
諏訪地域整備促進検討会
- 1月26日(金)
事務(局)長会議、事務局職員研修会
- 1月31日(水)
第6回正副理事長会議
- 第6回理事会
- 2月6日(火)
令和5年度品質管理監査報告会・
技術研究発表会
- 2月7日(水)・8日(木)
国土交通省(中南信・県外機関)
挨拶及び要請
- 2月14日(水)
長野県議会議員との懇談会
- 2月27日(火)
長野県コンクリート技術講習会
- 3月7日(水)
第2回労働安全衛生委員会
労働安全衛生に関する研修会
- 3月27日(水)
品質管理責任者講習会

令和6年度

- 4月22日(月)
第1回正副理事長会議
- 第1回理事会
- 工組・協組連会計監査
- 5月28日(火)
第2回正副理事長会議
- 第2回理事会
- 工組・協組連通常総会

編集後記

今年度も重要なニュースは数多くありましたが、やはり一番のニュースは能登半島地震ではないでしょうか。長野市では最大震度5弱が観測され、私事ですが、人生至上最大の地震でした。その時は、サウナタイムで水風呂に入っており、「きもちいい」なんて思うのもつかの間、地震がやってきて大きく水が揺れ、浴槽からバシャンバシャンと大量に溢れ出しました。これで家屋が崩壊し、瓦礫に足を取られ水風呂から出られなくなったら、この寒空確実に凍死です!「神様仏様、お願いだから止まってください!」とずっと

と祈っていました。幸い長野県では被害が少なくすみましたが、被災地の被害にあわれた方のご苦勞を思うと胸が痛み、また、お亡くなりになりました方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

さて、当工業組合・協同組合連合会では、品質の良い生コンの安定供給と需要増加に向けて、組合員の技術力向上及び発注機関に理解を深めていただくための活動を積極的に展開していきたいと思えます。また、各組合員・支部・協組との連携を一層密にし、行政や関連する業界・団体等の動向等に関する情報の収集に努め、提供して参りますので、皆様方の一層のご支援・ご協力をお願いいたします。